

住民意見 (一部抜粋)	事業者回答方針 (評価書案まで継続検討)
事業計画	
ABCハウジング跡地(保留地)に何が作られるかわからないまま で事業がすすめられるのは納得いかない。	用地①-bの計画については、大阪府や関係機関とも相談させて いただきながら検討を進め、今後、大阪府に提案してまいります。
保留地があるのに全体計画の環境影響評価を開始するのはおか しい。	用地①-bの計画については、現時点では未定です。計画が確定 しましたら、環境影響評価の変更や再実施など含め、必要な手続 を実施いたします。
アズキ火山灰層の保存について	現状、アズキ火山灰層の露頭があるエリアは開発対象エリアであ るため、現状のまま保全することは難しいものと考えています。 ただし、提供公園の一部をアズキ火山灰層の露頭地として残すこ とを検討し、公園みどり室及び文化財保護課等と協議いたしま す。
アリーナ退出時などアリーナ横のデッキが混雑してるときは、歩行 者はう回して駅へ向かうという説明があった。 かなり不便、もっと歩行者にとって便利な計画にしてほしい。	意見踏まえまして、万博記念公園駅への歩行者動線について、 もっと便利にできないか、建物配置など可能な範囲で検討し、評 価書案でお示しいたします。
モノレールの駅、アリーナ、ホテル、就業施設等を結ぶ歩道には、屋 根の設置やバリアフリーを検討していただきたい。	万博記念公園駅の駅前ロータリーの上部にデッキを設け、ロータ リーとの歩車分離を図りながら、万博記念公園駅からアリーナや 記念協会前交差点までフラットでバリアフリーな通り抜け通路を 形成することを検討しています。
車両による周辺環境への影響を低減するなら、アリーナ関連の来 場者の自動車使用を禁止すべきである。	本事業では、入場・退場車両による周辺環境への影響を低減する ため、特に入退場ピークが集中するアリーナについては、自動車分 担率を目標5%に抑制し、モノレールや周辺鉄道駅(阪急山田駅、 JR茨木駅)からの徒歩誘導など、公共交通機関の利用促進を図 る計画としており、そのためのマネジメントの実施を検討していま す。
工事計画	
工事期間中について	工事計画について具体的にご説明できる段階になったら、工事着 手前にご説明させていただきます。なお、工事にあたっては、周囲 に仮囲い鋼板を設置し、必要に応じて防音パネルや防音シート等 の設置を検討します。さらに、必要に応じて場内を散水車で散水 し、粉じんの飛散を防止するなど、対策を講じます。また、解体の 際は、アスベストの使用の有無を調査し、アスベストを含有する場 合には、確実な飛散防止対策を行います。
環境取組	
良好な環境の創造について	本事業では、大阪府建築物の環境配慮制度において高い評価結 果を得られるよう努めるとともに、アリーナ棟についてはZEB Oriented、共同住宅についてはZEH-M Oriented 認証取得、 低炭素建築物新築等の計画の認定を目指した設計といたします。 また、環境配慮型機器の採用(高効率・省エネルギー型機器、高 効率の空調機器、LED照明器具等)など、脱炭素社会の実現に 貢献する取組を実施してまいります。さらに、事業計画地全体と して、太陽光発電などの再生可能エネルギーの導入により、可能 限り環境負荷の低減を図ってまいります。
ヒートアイランド	
ヒートアイランド進行の懸念	ヒートアイランドへの影響については、今後、調査、予測・評価を実 施し、その結果を評価書案でお示しいたします。
騒音	
アリーナが音を発する時間への配慮をしてもらいたい。終日使用 とあるが、大きな音を出すのは遅くても22時頃までとし、周辺住民 への配慮を強く希望する。	騒音への影響については、今後、調査、予測・評価を実施いたしま す。周辺の生活環境への影響が認められる場合には、営業時間 見直しなどの対策を講じます。その結果を評価書案でお示しいた します。
野外ステージを設けて、野外コンサート等の隣接地に大きな音を 出すような催しは禁止していただきたい。	
良好な生活環境を守るためにも営業時間は9時から22時とする。 深夜、早朝、24時間営業は絶対しない。	

住民意見 (一部抜粋)	事業者回答方針 (評価書案まで継続検討)
動植物、生態系	
自然文化園内の樹木が開発のために伐採されるなど、自然文化園の環境や生態系への影響が強く懸念されます。	交通対策の1つの案としている「千里橋ルート」は、自然文化園の既存の管理用通路(車路)を利用することを検討しています。具体的な線形はこれからの検討ですが、可能な限り現状の植栽の伐採を回避・低減する計画といたします。
野生動物への影響懸念	動物への影響については、今後、調査、予測・評価を実施し、その結果を評価書案でお示しいたします。
緑化	
みどり・自然共生をより進める	本事業では、事業計画地内の高低差を利用した緑豊かな景観の創出や、低・中・高木による立体的な緑地の形成、駐車場緑化等による視認性の高い箇所への緑化により、緑に包まれた施設とする計画としております。
景観	
各学校からどのようにマンションが見えるか?を、模型あるいは3D映像で予測提示して頂きたいです。	山田東中学校及び山田高校からの景観について、調査、予測・評価を実施し、その結果を評価書案でお示しいたします。
「アリーナ」及び「ホテル」等の施設の建設については、公園全体の調和と美観、景観を十分配慮いただき、隣接する地域の住宅等の環境に配慮した施設、建物であること。	計画建物の色彩等は周辺と調和したものとなるよう計画し、景観に著しい違和感を与えることのないよう配慮いたします。
日照障害、風害	
10階建てや14階建てができると言うが、壁になって風、日照など付近マンションへの影響はどうか。	日照障害や風害について、調査、予測・評価を実施し、その結果を評価書案でお示しいたします。
防災・安全	
アリーナ施設について防災拠点としての位置づけはないのか。	災害時の停電、断水等に対し、その復旧までの期間、自給自足を可能とする施設の設置等、災害時の自立性を維持する取組(太陽光パネル、V2Hシステム、蓄電池、フリーWifi、かまどベンチ、マンホールトイレなどを検討)を行います。 また、地域や行政との協力や自主防災組織の結成等、災害時に備えた地域等との連携に関わる取組(備蓄倉庫など)を検討いたします。
1世帯当たりの避難場所面積が減少しますが、どのような試算をされているのか?	事業計画地周辺には、広域避難地である万博記念公園周辺に加え、一時避難地が多数あります。 共同住宅においては、耐震性能項目において性能評価を取得することや、災害時の停電、断水等に対し、その復旧までの期間、エコキュートタンクによる生活用水の確保及び簡易発電機等の共用の防災備品や太陽光発電設備、V2Hの導入を検討することにより、マンション内で被災時の一時対応が可能となる設備・備品の設置、かまどベンチ、マンホールトイレ等の災害時の自立性を維持する施設の設置などの取組を検討することにより、周辺の避難所への影響を極力低減する計画としております。
コミュニティ	
小学校の受け入れ体制・学習環境の悪化が懸念されます。	人口増加によるコミュニティ施設への影響について、調査、予測・評価を実施し、その結果を評価書案でお示しいたします。

住民意見 (一部抜粋)	事業者回答方針 (評価書案まで継続検討)
交通混雑、交通安全	
<p>混雑の緩和には、モノレールの増便や車両の増設など大阪モノレール(株)の協力や、阪急バスなどバス会社の協力が欠かせないと考える。</p>	<p>公共交通機関(モノレール、バス)の輸送能力及び安全性への影響については、今後、評価書案でお示しいたします。 なお、本事業のアリーナ施設でのイベントと、万博記念公園でのイベントや市立吹田サッカースタジアムでの試合等の入退場が重なる時間帯など混雑が想定される場合においては、大阪モノレールの増便等について、今後、関係交通事業者等と協議をしていくこととしております。</p>
<p>現状の特異日は年間何日を想定しているのか。 根本的に解決することは不可能という提案はいったいどういうつもりなのか。</p>	<p>特異日20日間については、万博記念公園でのイベント(桜まつり)や市立吹田サッカースタジアムでの試合日に外周道路が渋滞する日として、(意見交換会で)発言させていただきました。渋滞の定義は、信号サイクルでも捌け残りが連続的に発生する状態となります。現況交通量調査では、榎切山北交差点は慢性的な渋滞の発生が確認されましたが、それ以外の外周道路の交差点では、桜まつりや試合日やなどの大型イベント開催日に渋滞が発生しており、そのおおよその日数を説明させていただきました。アリーナ開業後に、交通対策を行った上で、この渋滞が発生する日数がどのようになるか、動的シミュレーションとともに、定量的に分析をまいります。</p>
<p>交通量調査は外周とごく近辺のみで、大きな影響を受ける榎切山から、コーナンの道路などは全く予定されていない。外周周辺もするべきです。</p>	<p>事業計画地は、外周道路に接しており、事業計画地への入場車両は、主要経路となる道路(府道茨木摂津線、府道大阪中央環状線、府道南千里茨木停車場線など)から事業計画地が接する外周道路へ入り、そこから事業計画地へ入場することとなります。事業計画地が接する外周道路は、現況において一方通行の規制がかかっており、万博記念公園でのイベント開催日や市立吹田サッカースタジアムの試合日など交通混雑がみられます。本事業による影響を適切に判断するため、外周道路と周辺の主要経路となる道路との結節点を中心に調査地点を設定しております。また、ご指摘いただいている榎切山北交差点など、現状、混雑する時間帯がみられる地点についても調査地点として設定しております。今後、榎切山北交差点付近も含めた交通流シミュレーションを行い、その結果を評価書案にてお示しさせていただきます。</p>
<p>緊急車両(救急、警察、消防など)の到着が遅れば、助かる命も救えなくなるかもしれません。</p>	<p>緊急車両への対応について、必要に応じて、吹田市消防本部にも相談してまいります。</p>
<p>近隣に山田東中学、山田高校があります。朝夕は通学生であふれています。また万博外周は通勤・通学自転車の大動脈です。さらなる大規模マンションの通勤通学、アリーナイベントの搬入搬出が加わると事故増加が懸念されます。</p>	<p>事業計画地周辺における交通混雑への影響については、今後、交通流シミュレーションを行い、その結果を評価書案にてお示しさせていただきます。</p>
<p>今でも万博公園には色々な施設があり、イベントの開催時には多数の人が来られます。当然、町の中は車で混雑しています。私たちの日常生活は駐車場や道路の混雑で大変迷惑を感じています。</p>	
<p>公共交通機関の利用促進はよしとするが、特にJR茨木駅からの徒歩は無理がある。阪急山田駅からもきつい。</p>	<p>現状、市立吹田サッカースタジアムの観戦客は、当該ルートを使用しております。</p>
<p>現状、イベント中、村の中を抜け道として利用される方も少なくなく、知らない道のため、通れないと看板があるにも関わらず入ってきて動きがとれなくなる事態になっている。</p>	<p>本計画施設の入退場車両が、周辺の生活道路に進入しないよう、走行ルートの周知や施設内でのアナウンスを行うとともに、吹田市環境影響評価審査会の意見なども踏まえ、対策を検討してまいります。</p>
<p>山田東3号線から山田東9号線にかけて、用地②③の共同住宅や外周道路に抜けようとする車の増加が想定される。</p>	
<p>阪急山田駅まで徒歩で移動するアリーナ利用者が想定されるが、進歩橋南詰信号から、山田駅にかけての道は周辺住民の生活道路となっている。特に北部水道事業所付近の歩道はモノレールの支柱によって狭く自転車も行き交い歩行者にとって危険な道である。反対に、エキスポシティに徒歩や自転車で訪れる近隣住民もいる。互いの導線確保(歩行デッキの設置など)、誘導体制を強く求める。</p>	<p>本事業では、入場・退場車両による周辺環境への影響を低減するため、特に入退場ピークが集中するアリーナについては、モノレールや周辺鉄道駅(阪急山田駅、JR茨木駅)からの徒歩誘導など、公共交通機関の利用促進を図る計画としております。なお、最もピークとなるアリーナ退場時においては、敷地内の商業施設への立ち寄り誘導を促すなど退場時間の分散も検討し、歩道を含む周辺道路への負荷の分散を図るとともに、安全性の検証も行ってまいります。</p>

住民意見 (一部抜粋)	事業者回答方針 (評価書案まで継続検討)
<p>「千里橋ルート」について、この計画だと中央自動車道東向き車両が万博記念公園外周道路に北山田小学校横を通過して進入していく道の先に合流を作ることとなり、今でも交通渋滞が発生している場所にさらなる混雑を招く可能性があると考えます。これでは道路交通環境の悪化を最小限に抑えるには不十分ではと考えます。そこで、千里橋両端から、橋のかかる部分の法面を活用して直接中央環状線と出入りするルートの構築を検討していただく必要があると考えます。また提案書の千里橋ルートは当該開発地区への進入ではなく、退出とすることにより、上記で述べた場所の交通渋滞状況悪化を低減できるのではと考えます。</p>	<p>外周道路と千里橋ルートの接続位置については、現在検討中です。いただきましたご意見や吹田市環境影響評価審査会の意見なども踏まえ、道路管理者や交通管理者とも協議を行い、最適な位置を検討してまいります。その上で、事業計画地周辺における交通混雑や交通安全への影響については、今後、評価書案にてお示しさせていただきます。</p> <p>本事業においては、これまで様々な交通対策案を検討しており、その中に、ご意見いただいている中央環状線へ直接接続する案についても検討いたしました。しかし、中央環状線に接続する斜路が道路構造令に準拠した勾配に出来ないため、不可と判断しております。</p>
<p>モノレールや阪急電車の増便、増車両、改札口の混雑緩和対策、最寄り駅(阪急茨木市駅、JR茨木駅、JR岸辺駅、JR新大阪駅、JR大阪駅等)からのシャトルバス運行を関係機関と交渉していただきたい。</p>	<p>公共交通機関の利用促進策として、大阪モノレールの増便等、関係交通事業者等と協議をしていくこととしております。シャトルバスにつきましては、数社に相談しましたが、各社ともバス運転手不足が深刻な業界の課題があり、将来的にも解消できる見通しが無いため、定常的な運行は難しいと言われております。</p>
<p>外周道路不法駐車対策として、イベント開始、終了時の大型バス、来場者の送迎車両、自転車等の取り締まり対策を検討してください。</p>	<p>道路管理者や警察など関係機関からの指導も踏まえ、出入口付近及び安全確保上必要と思われる箇所について、適宜配置を検討いたします。</p>
<p>車での来場禁止、パークアンドライドの徹底対策を講じていただくよう強く要望します。</p>	<p>パーク・アンド・ライド含め、極力、公共交通機関を利用していただくよう対策を検討してまいります。</p> <p>また、本事業においては、用地①-a及び用地①-bをセットバックして外周道路を拡幅し、新たに右折レーンを新設することで外周道路の直進車線への交通負荷を低減する計画としております。</p>
<p>駐車場の出入口は万博外周道路と茨木摂津線と山田小川地区生活道路の三叉路に接近しています。三叉路付近で今以上に交通渋滞が起きます。西北通路を利用するのが最適です。</p>	<p>茨木摂津線を北上してきた車両が当該三叉路で外周道路に合流し、記念協会前交差点を右折して事業計画地に入場する場合、短い区間で2車線を跨いで右側車線に車線変更する必要があり、交通安全上問題があると考えます。そのため、本事業では、当該車両を大阪府が整備する千里橋ルートから安全に事業計画地に入場させる計画としております。</p> <p>また、事業計画地(用地①-a)内には高低差があり、計画施設の配置上、西北通路から事業計画地(用地①-a)内の駐車場に行くことができません。西北通路は、万博記念公園駅の駅前ロータリーへの接続道路となります。</p>
意見交換会	
<p>地元の見解によって事業内容を変更することはあるのですか。あるとすれば、市議会も地元も反対しているマンション建設を中止することが正しいと思います。</p>	<p>住民の皆さまや吹田市環境影響評価審査会の意見、環境影響評価の結果を踏まえ、より環境に配慮した計画となるよう対策を検討し、住民の皆さまにご納得いただけるよう取り組んでまいります。</p>
<p>近隣マンションや学校への説明はすんでいるのか、納得は得られているのか。</p>	<p>本環境影響評価手続以外に、「吹田市開発事業の手続等に関する条例」や「吹田市環境の保全等に関する条例」、「大規模小売店舗立地法」に基づく説明会があり、そこでもご説明させていただきます。</p>
その他	
<p>アリーナとマンションが建つと、さらなる治安悪化が懸念されます。</p>	<p>施設利用者の敷地外での行為については、周辺住民の皆さまの生活環境を損なわないよう、施設内でのアナウンスなどにより協力をお願いいたします。</p> <p>阪急山田駅へ徒歩で帰られる施設利用者につきましても、生活道路へ進入しないよう、ルート案内などを行ってまいります。</p>